

カルシウム剤

日本薬局方 乳酸カルシウム水和物

乳酸カルシウム「ホエイ」

Calcium Lactate

貯 法：気密容器、室温保存
使用期限：3 年
（容器に表示の使用期限内
に使用すること）

承認番号	16100AMZ00620
薬価収載	1950年 9 月
販売開始	1952年 4 月
再評価結果	1986年12月

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

1. 高カルシウム血症の患者〔高カルシウム血症を増悪させるおそれがある。〕
2. 腎結石のある患者〔腎結石を増強させるおそれがある。〕
3. 重篤な腎不全のある患者〔カルシウム排泄低下により、高カルシウム血症があらわれるおそれがある。〕

【組成・性状】

組成

販売名	乳酸カルシウム「ホエイ」
成分・含量 (1 包 (1 g) 中)	日本薬局方 乳酸カルシウム水和物 1 g 含有

製剤の性状

本剤は白色の粉末または細粒状である。

分包品 識別コード	h-702
-----------	-------

【効能・効果】

1. 低カルシウム血症に起因する下記症候の改善
テタニー
2. 下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
妊婦・産婦の骨軟化症
3. 発育期におけるカルシウム補給

【用法・用量】

乳酸カルシウム水和物として、通常成人 1 回 1 g を 1 日 2 ～ 5 回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - (1) 活性型ビタミン D 製剤を投与中の患者〔高カルシウム血症があらわれやすい。〕
 - (2) ジギタリス製剤を投与中の患者〔「3. 相互作用」の項参照〕
 - (3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者
2. 重要な基本的注意
長期投与により血中および尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中または尿中カルシウムを検査することが望ましい。
また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

3. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジギタリス製剤 ジゴキシン ジギトキシン	ジギタリス中毒（不整脈、ショック）があらわれることがある。 定期的にジギタリス中毒の有無、心電図検査を行い、必要に応じてジギタリス製剤の血中濃度を測定し、異常が認められた場合には、ジギタリス製剤の減量若しくは投与を中止する。	ジギタリス製剤の作用を増強する。
テトラサイクリン系抗生物質 テトラサイクリン	テトラサイクリン系抗生物質の作用が減弱するおそれがある。同時服用をさけ、併用する場合には 1 ～ 3 時間以上あける等注意する。	カルシウムイオンはキレート化によりテトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害する。
ニューキノロン系抗菌剤 塩酸シプロフロキサシン、 ノフロキサシン、 トシル酸トスフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤の作用が減弱するおそれがある。 同時服用をさけ、併用する場合には、2 時間以上あける等注意する。	カルシウムイオンはキレート化によりニューキノロン系抗菌剤の吸収を阻害し、血中濃度を低下させる。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度不明である。

次のような副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

頻度 種類	頻度不明
長期投与	高カルシウム血症、結石症
消化器	便秘

5. 高齢者への投与

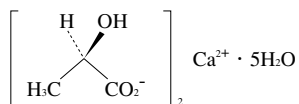
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【薬効薬理】

血清カルシウム値が低下した際に、カルシウム値を上昇させる。血漿中カルシウムイオンが欠乏すると神経系及び筋肉系の興奮性が高まって疲労しやすくなり、横紋筋はけいれんを起こす。本剤の投与により鎮静、けいれん軽減の作用を示す。カルシウムは無機栄養素としても重要で、歯や骨の主成分である。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：〔日局〕 乳酸カルシウム水和物（Calcium Lactate Hydrate）
化学名：Monocalcium bis〔(RS)-2-hydroxypropanoate〕 pentahydrate
分子式： $C_6H_{10}CaO_6 \cdot 5H_2O$
分子量：308.29
構造式：



及び鏡像異性体

性状：本品は白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。
本品 1 g は水20mLに徐々に溶け、エタノール（95）に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
本品は常温でやや風解し、120℃で無水物となる。

【包 装】

500 g

FG印（細粒状） 500 g 1 g × 1050包

***【文献請求先】

ファイザー株式会社 製品情報センター
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
学術情報ダイヤル 0120-664-467
FAX 03-3379-3053



※製造販売元
マイラン製薬株式会社
大阪市中央区本町2丁目6番8号

***販売
ファイザー株式会社
東京都渋谷区代々木3-22-7

